

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：2022 年 4 月 20 日 報告者：及川 和紀

行事種別	講演会	行事番号	220000161
開催日	2022 年 4 月 16 日（土）		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール（所在地 名古屋市）		
テーマ	呼吸機能検査 NOW！！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	JA 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉		
講 師	1. 呼吸機能ハンドブック解説 国家公務員共済組合連合会名城病院 及川 和紀 2. 新型コロナウイルスの NOW！！！！ 公立陶生病院 感染症内科 主任部長 武藤 義和		
内 容	「呼吸機能検査に関する最新の知見」をテーマとする講演会を企画した。 まず、呼吸機能検査ガイドラインが昨年改訂され VC および FVC の採択基準が複数変更されたことを受け、変更点の解説と新しい判断方法について解説した。 次に、コロナ渦において有名な情報ツールとなった「今週のコロナニュース」「コロナ NOW！」で有名な公立陶生病院の武藤先生に、コロナの現状や 4 回目ワクチン、その検査や医療について講演いただいた。 講演後は、呼吸機能検査室スタッフ・細菌検査室スタッフ・小さなわが子のワクチン接種に悩むひとりの父など、様々な立場から質問が飛び出し、これに対する親切かつ率直な回答をいただくこともできた。オンデマンド配信に慣れた状態から、久しぶりの現地開催となった今回であったが、95 名と大勢に参加いただくこともでき、有意義な講演会開催となったと感じている。		
参加者	総数：95 名（会員 95 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）		
共催、後援など	なし		

愛臨技學術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 4 年 10 月 7 日 報告者：西脇 啓太

行事種別	研究会	行事番号	220006022
開催日	令和 4 年 9 月 17 日 (土) ～30 日 (金)		
時 間	開 始	－	終 了
場 所	オンデマンド配信		
テーマ	頻脈性不整脈の診断と治療について		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	半田市立半田病院 西脇 啓太		
講 師	1.不整脈入門 ～頻脈性不整脈の発生機序と 12 誘導心電図の判読について～ JA 愛知厚生連 安生更生病院 谷澤 弘規 2.覗いてみよう 「カテーテルアブレーションの世界」 JA 愛知厚生連 江南厚生病院 小島 光司		
内 容	近年、臨床検査技師が心臓カテーテル検査・治療に携わる機会が増えている。その中でもアブレーション治療は、12 誘導心電図やホルター心電図での不整脈の発見からカテーテル室での補助業務まで臨床検査技師の関りが深い。本研究会はカテーテル室での業務に従事している・いないに関わらず、臨床検査技師と頻脈性不整脈の関りが学べるように企画した。 講演 1 では谷澤技師がアブレーション治療の対象となる頻脈性不整脈の総論を心電図判読のポイントや実際波形を用いた設問を用意して解説した。 講演 2 では小島技師が実際のカテーテル室での業務の内容について講演した。カテーテル室での業務に従事していない技師にとって普段あまり見る機会のない心内心電図についても解説した。 何回も繰り返し視聴ができるようにオンデマンド配信で企画をしたが、多くの方にご参加いただいた。カテーテル室での業務を身近に感じ、今後の業務に活かしてもらえることを期待する。		
参加者	総数：231 名（会員 173 名、県外会員 58 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）・申込総数：374 名		
共催、後援など	なし		

【総数】 現地開催、ライブ配信：参加者を記載（非会員や学生など内訳を記載）

オンデマンド配信：レポート提出者と講師、実務委員を記載

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 4 年 10 月 19 日 報告者：神藤 駿

行事種別	研究会	行事番号	220008158
開催日	令和 4 年 10 月 15 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	神経伝導検査・誘発電位のキホン		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	豊橋市民病院 神藤 駿		
講 師	1. NCS の基本原理と手技 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 鈴木 優大 2. 誘発電位の基本原理と手技 トヨタ記念病院 鍋谷 洋介		
内 容	神経伝導検査や誘発電位は、電極装着や刺激といった操作はシンプルであるが、解剖や測定原理を理解していないと誘発された波形が正しいのか分からないことがある。今回は「神経伝導検査・誘発電位のキホン」というテーマで、基本原理、波形判読、アーチファクト対策など学ぶ内容を企画した。 講演 1 では、医療法人豊田会刈谷豊田総合病院の鈴木技師から神経伝導検査に必要な基礎知識、検査法について動画を交えて講演いただいた。 講演 2 では、トヨタ記念病院の鍋谷技師から聴性脳幹反応、視覚誘発電位、体性感覚誘発電位の基本原理と手技について講演いただいた。 講演後は、体性感覚誘発電位の刺激強度の決定の仕方についての質問があり有意義な意見交換が行われた。		
参加者	総数：66 名（会員 66 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：82 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 4 年 11 月 21 日 報告者：星川 あすか

行事種別	研究会	行事番号	220010915
開催日	令和 4 年 11 月 19 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 研修ホール (所在地 名古屋市)		
テーマ	プロフェッショナルに聞いてみよう！明日から試したくなる腹部エコー		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	愛知医科大学病院 淀川 千尋		
講 師	1. 知っておくべきドブラ・造影エコー法の基礎 藤田医科大学病院 笹木 優賢 2. 知っておくべき肝線維化・脂肪化評価法の基礎 藤田医科大学 医療科学部 刑部 恵介		
内 容	「プロフェッショナルに聞いてみよう！明日から試したくなる腹部エコー」をテーマに腹部エコーを行う際に必要な検査法についての手技・評価方法を学ぶ内容を企画した。 講演 1 ではカラードプラ法使用時の画像や血流速度の設定方法、注意点を解説していただいた。また、造影エコー法について原理から各造影モードの特徴、評価方法を詳しく説明していただいた。造影エコーはタスクシフト/シェア業務に含まれているため、これからの業務に活かせる内容であった。 講演 2 では肝線維化・肝脂肪化測定法についての原理や画像描出方法、評価方法の解説に加え、各種メーカーの解析アプリケーションの特徴も提示していただいた。 これまで超音波検査で肝障害や脂肪肝の評価はしてきたが、B モード画像のみの評価では判断に悩むことが多い。NASH の診断は肝生検とされているが、侵襲的である上に検体量が肝全体の 5 万分の 1 であり、サンプリングエラーの可能性があるため、非侵襲的で短時間に行うことができる超音波検査での肝線維化・脂肪化測定は有用であると考え。現在、超音波検査で肝線維化・脂肪化測定を実施している施設は少なかったが、すでに実施している施設だけでなく、実施していない施設にとっても役立つ内容だった。 今回の研究会から、今後の研究会をより良いものとするために研究会についてのアンケートをとることとなった。アンケートの結果を今後の研究会活動に活かしていきたい。		
参加者	総数：58 名（会員 58 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：76 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 4 年 12 月 5 日 報告者：中村 和広

行事種別	研究会	行事番号	220011703	
開催日	令和 4 年 12 月 4 日（日）			
時 間	開 始	9 時 00 分	終 了	12 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（所在地 名古屋市）			
テーマ	心臓超音波検査の基礎『ポイントをおさえよう！』			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	なし			
講 師	実技講習 ・生理検査研究班班員 （水内 早紀、淀川 千尋、星川 あすか、花井 甲太郎、中村 和広、小島 光司、鈴木 優大、岸 久美子、海老名 祐佳） ・JA 愛知厚生連安城更生病院 犬塚 斉			
内 容	「心臓超音波検査の基礎『ポイントをおさえよう！』」をテーマに主に初心者を対象とした基礎講座を企画した。 11 月 21 日（月）～12 月 3 日（土）に実技講習に先立ち WEB 配信による講義をご視聴いただいた。内容は、基本断面の描出ポイント、断層法やドプラ法での基本計測のポイント、壁運動や右心機能の評価ポイントであり、初心者に限らず心臓超音波検査に携わるスタッフであれば皆熟知しておくべき重要かつ基本的な内容とした。また、復習等に役立てていただけるよう、動画内容をまとめた資料を作成し、各自ダウンロードできるように設定した。 12 月 4 日（日）には、各メーカーから超音波診断装置を借り、3 時間の実技講習を行った。3～4 名グループを 8 部屋に分け、10 分毎の交代制で参加者のリクエストに応える形式で講習を行った。講師は各部屋に 1 名と 2 名のラウンド講師で対応し、被検者の違いに起因する描出のし易さを均すために、中間時点で被検者の入れ替えを行い実施した。また、より良い学びに繋げるために、事前にご回答いただいたリクエスト内容を含む実技講習テキストを作成し当日に配布した。 参加者アンケートでは、86%の方から内容は適切であったとご回答頂くことができた。感染対策等大変な部分もあったが、大きなトラブルもなく、有意義な基礎講座になったと感じる。			
参加者	総数：30 名（会員 30 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：32 名			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 4 年 12 月 5 日 報告者：中村 和広

行事種別	研究会	行事番号	220011714
開催日	令和 4 年 12 月 4 日（日）		
時 間	開 始	13 時 00 分	終 了 16 時 00 分
場 所	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（所在地 名古屋市）		
テーマ	心臓超音波検査の基礎『ポイントをおさえよう！』		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	なし		
講 師	実技講習 ・生理検査研究班班員 （水内 早紀、西脇 啓太、花井 甲太郎、海老名 祐佳、藤田 啓介、小島 光司、鈴木 優大、岸 久美子、中村 和広） ・JA 愛知厚生連安城更生病院 犬塚 斉		
内 容	「心臓超音波検査の基礎『ポイントをおさえよう！』」をテーマに主に初級者を対象とした基礎講座を企画した。 11 月 21 日（月）～12 月 3 日（土）に実技講習に先立ち WEB 配信による講義をご視聴いただいた。内容は、基本断面の描出ポイント、断層法やドプラ法での基本計測のポイント、拡張能評価や+a断面のポイントであり、初級者に限らず心臓超音波検査に携わるスタッフであれば皆熟知しておくべき重要かつ基本的な内容とした。また、復習等に役立てていただけるよう、動画内容をまとめた資料を作成し、各自ダウンロードできるように設定した。 12 月 4 日（日）には、各メーカーから超音波診断装置を借り、3 時間の実技講習を行った。3～4 名グループを 8 部屋に分け、10 分毎の交代制で参加者のリクエストに応える形式で講習を行った。講師は各部屋に 1 名と 2 名のラウンド講師で対応し、被検者の違いに起因する描出のし易さを均すために、中間時点で被検者の入れ替えを行い実施した。また、より良い学びに繋げるために、事前にご回答いただいたリクエスト内容を含む実技講習テキストを作成し当日に配布した。 参加者アンケートでは、86%の方から内容は適切であったとご回答頂くことができた。途中、参加者 1 名が体調不良を訴えたが、休憩後復帰することができ大事には至らなかった。それ以外では、大きなトラブルもなく、有意義な基礎講座になったと感じる。		
参加者	総数：28 名（会員 28 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：31 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和 5 年 3 月 4 日 報告者：藤澤 嘉朗

行事種別	研究会	行事番号	220018676																			
開催日	令和 5 年 2 月 18 日（土）～3 月 3 日（金）																					
時 間	開 始	－	終 了	－																		
場 所	オンデマンド配信																					
テーマ	令和 4 年度愛臨技精度管理報告																					
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点																					
司 会	名古屋掖済会病院 花井 甲太郎																					
講 師	<table><tr><td>1. 愛臨技精度管理調査報告 総括</td><td>名古屋掖済会病院</td><td>花井 甲太郎</td></tr><tr><td>2. 心電図検査</td><td>半田市立半田病院</td><td>西脇 啓太</td></tr><tr><td>3. 腹部・表在超音波検査</td><td>豊川市民病院</td><td>星川 あすか</td></tr><tr><td>4. 心・血管超音波検査</td><td>総合大雄会病院</td><td>水内 早紀</td></tr><tr><td>5. 脳神経検査</td><td>名古屋大学医学部附属病院</td><td>藤澤 嘉朗</td></tr><tr><td>6. 呼吸機能検</td><td>JCHO 中京病院</td><td>宮澤 法子</td></tr></table>				1. 愛臨技精度管理調査報告 総括	名古屋掖済会病院	花井 甲太郎	2. 心電図検査	半田市立半田病院	西脇 啓太	3. 腹部・表在超音波検査	豊川市民病院	星川 あすか	4. 心・血管超音波検査	総合大雄会病院	水内 早紀	5. 脳神経検査	名古屋大学医学部附属病院	藤澤 嘉朗	6. 呼吸機能検	JCHO 中京病院	宮澤 法子
1. 愛臨技精度管理調査報告 総括	名古屋掖済会病院	花井 甲太郎																				
2. 心電図検査	半田市立半田病院	西脇 啓太																				
3. 腹部・表在超音波検査	豊川市民病院	星川 あすか																				
4. 心・血管超音波検査	総合大雄会病院	水内 早紀																				
5. 脳神経検査	名古屋大学医学部附属病院	藤澤 嘉朗																				
6. 呼吸機能検	JCHO 中京病院	宮澤 法子																				
内 容	2022 年度愛臨技・生理検査精度管理報告の解説を昨年度と同様にオンデマンド配信にて行った。例年通り、分野ごとに 5 名の技師が設問ごとに詳しい説明を加えて解説した。設問の意図や関連する症例等も提示され日常業務に活用できる内容であった。問題作成に際しては、班員相互のチェックも行ったため、概ね良好な正答率であった。 今年度も昨年度同様に数値・計測設問を各分野で 1 問作成した。地域サーベイとしての数値設問は意義があるが、設問の作成に際しては注意を要し苦慮する点もある。班会議の中で数値設問について代替案等の意見をまとめ、来年度以降の設問作成に取り組むことになっている。 今後も内部精度管理も含め、日常業務で十分に活かせる精度管理の問題作成を進めていきたいと考える。																					
参加者	総数：127 名（会員 103 名、県外会員 24 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：203 名																					
共催、後援など	なし																					

2022.10.12